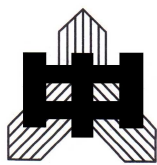


創立78周年

学校便り2月号



誠実 勉学 健康

ゆめ は え
夢南風

令和7年2月28日発行
鹿児島市立河頭中学校
鹿児島市犬迫町1168
Tel 099-238-2663

生徒数 合計83名
1年23名, 2年32名, 3年28名

「有終の美を飾る」

校長 瀧脇 広智

早いもので、2月が逃げるように過ぎ去ってしまいました。いよいよ3月です。学校は、次年度に向けての準備で慌ただしくなっています。生徒も同じです。進級・卒業に向けての準備をしなければなりません。今年度を締めくくるに当たり、「有終の美を飾る」ということについて考えてみたいと思います。

「有終の美を飾る」という意味は、「最後に素晴らしい結果を残す」ということです。「有終」には「最後までやり遂げる」、「終わり」という意味があり、そこに「美」が組み合わさっているので、「美しく」または「素晴らしい」結果であることを表す表現であると考えられます。一般的によく使われる「終わりよければすべてよし」という言葉とは少し意味が異なります。

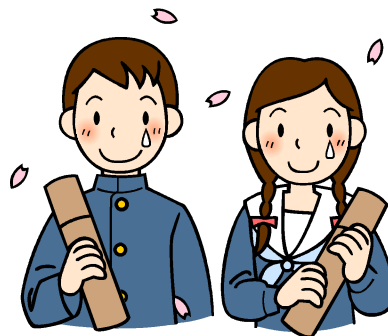
さて、生徒のみなさんにとって「有終の美を飾る」とはどういうことでしょうか。私は、次のように考えます。

まずは、「勉強の締めくくりをする」ことです。それぞれの学年で学習したことを確実に理解して次の学年に進級・卒業することです。3年生は公立高校入試がいよいよ始まります。1・2年生は、鹿児島学力・学習状況調査、学年末テストも終わり、学校生活や授業での気持ちがゆるみがちです。卒業式、修了式が終わるまでは、今年度の学習のまとめをしっかり続けてほしいです。

次に、「自分自身を見つめる」ということです。自分自身がこの1年間にどのように成長したか振り返ってみましょう。時を守り、場を清め、礼を正し、形を整え、姿に表せる人であるために自覚して取り組めたか、学級の一員として思いやりある言動で学級の1人として級友と協力して頑張れたかということ振り返ってほしいです。

最後に、「場をきれいにする」ということです。「立つ鳥跡を濁さず」ということわざがあります。「最後を立派に終える」という意味からも、生徒のみなさんには1年間生活した教室や校舎、自分の机・椅子、ロッカー一等を感謝を込めてきれいにしてほしいです。

河頭中は、78年の歴史があります。校舎は古くても生徒のみなさんの力で光り輝く学び舎を維持していきましょう。生徒一人一人が、それぞれに「有終の美」を飾ってほしいと思います。保護者・地域のみなさまにおかれましては、これまで生徒の成長を見守り、学校を支え続けていただき心から感謝申し上げます。





の主な行事

- 4日(火) 全校朝会
- 5日(水) 公立高校入試～6日(木)
- 7日(金) 3年卒業式練習①② 全体練習③
球技大会④⑤⑥
- 11日(火) 1・2年会場準備① 同窓会入会式②
卒業式予行③④ 1・2年卒業式準備⑤⑥
- 12日(水) 第78回卒業式 欠時⑤⑥
- 13日(木) 公立高校合格者発表
- 18日(火) KST
- 20日(木) 春分の日
- 21日(金) 生徒朝会 キャプテン会議
- 25日(火) 修了式・離任式① 大掃除② 欠時④⑤⑥

第4回学校運営協議会

2月26日(水)今年度最後の第4回学校運営協議会を開催しました。初めに学校長から本校の今年度の成果について説明がありました。本校の生徒の良い面をたくさん挙げられました。

その後の協議では委員の皆様から、先日実施した1年生の郷土芸能発表会やエイサー、その他2学期制や令和8年に迎える創立80周年記念行事等の日頃の取組に対する様々な御意見や質問がありました。ある委員の方からは、小規模校の特性を生かし、特認校や地域の学校として、よく運営がなされているとのことでした。委員の皆様からそれぞれ助言いただいたことを今後の教育活動に生かしていきたいと思えます。10名の運営協議会委員の皆様、1年間、本当にありがとうございました。



鹿児島学力・学習状況調査

1月に実施した鹿児島学力・学習状況調査の結果(平均通過率)についてお知らせします。

【1年生】

	国語	社会	数学	理科	英語	全教科
県	62.9	52.4	48.8	57.9	58.8	56.6
本校	66.2	65.4	55.9	55.8	70.5	62.8
県との比較	3.3	13.0	7.1	△2.1	11.7	6.2

【2年生】

	国語	社会	数学	理科	英語	全教科
県	66.3	47.0	40.9	52.4	52.8	52.3
本校	64.4	53.1	40.9	48.8	65.1	54.8
県との比較	△1.9	6.1	0	△3.6	12.3	2.5

1・2年生の各教科の平均通過率は県を上回っています。教科によって難易度の違いもありますので、単に学年間や教科間を比較することはできませんが、両学年ともに英語の定着が図られているようです。結果は、今後の教科指導に生かしてまいります。